

新入生保護者各位

東京家政学院中学高等学校
学校長 佐野 金吾

携帯電話（及びスマートウォッチ）の所持について

携帯電話の所持について、本校では届け出により所持を許可しております。通学が交通機関の利用による形態であることと、携帯電話が家庭、個人の危機管理を担う機器になりつつあり、また公衆電話の設置数が少ない現状を考慮した結果です。

使用する際は、公衆でのマナーを十分理解すること、さらに学校という教育活動の場である環境に支障をきたすことを避けるために、下記の規則をご理解いただき、守ることを条件に所持を許可しています。

*スマートウォッチについても携帯電話と同様の所持許可制とします

《規則》

- 校内では『使用禁止』 電源を切り一切使用しない。
- 家庭からの連絡は、全て学校の電話を使用する。
- 校外での使用に際しては、マナーを守り迷惑行為のないよう注意する（歩行中の使用は禁止）。
- 校内での使用が発覚した場合、その場で没収し後日保護者に手渡しとする。重なる校内使用（違反）は厳重注意になる場合がある。

上記規則を厳守することができるようであれば、許可申請書に必要事項を記入して担任に提出して下さい。

- ◇ 電話番号の変更時は、再度の提出をお願いします。
- ◇ 電話の使用範囲は保護者の責任であることを充分にご理解下さい。

..... き り と り

携帯電話（及びスマートウォッチ）所持申請書

令和 年 月 日

東京家政学院中学高等学校
学校長 佐野 金吾 殿

中学・高校 _____年 _____組 _____番 生徒氏名 _____

保護者名 _____ 印

下記の理由により、携帯電話・スマートウォッチ（所持させるものを○で囲んでください）を所持させたく存じますので申請致します。所持に際しましては、規則を守り行動することを誓約します。

: 所持理由 _____

: 携帯電話番号 _____

: 所持使用開始 _____ 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 () から

■本校では、校内での携帯電話の使用を禁止しています。校内への持ち込みも許可制となっております。それらを「持たせる」「使わせる」のは、保護者の責任であることを充分にご理解下さい。

最近では、保護者が子どものインターネット利用を適切に管理する努力義務が法律で規定されるに至っています。下記の「自分を守る18のルール」はメディアでも注目された、アメリカに住む親子のスマートフォンを使う為の約束です。ここまでのルールを決めて下さいとは申し上げられませんが、ご家庭の中での、スマートフォン使用に関するルールの参考にしていただければと思います。

自分を守る18のルール

このモバイル端末は、親が買い、親が毎月支払い、親から貸してもらっていることをいつも忘れません。

1. パスワードは必ず親に教えます。
2. 親からの電話には必ず出ます。
3. 電源を入れるのは、朝 時から。(ただし、学校のある日には入れない)
月～金の夜は 時に電源を切って所定の場所に置きます。
土日祝の夜は 時に電源を切って所定の場所に置きます。
4. 使用時間は1日1時間までとします。
5. 定期テスト2週間前からは親に預け、勉強に集中します。
6. 学校では、ルールを守り、友達とは直接の会話を大事にします。
7. このモバイル端末を利用して人をだましたり、人を馬鹿にしたりしません。人を傷つけるような会話には入りません。人の悪口を絶対に書きません。そのようなことを知った時は親や先生に知らせます。
8. 面と向かって言えないことは、メールやLINE等のアプリを使ってもしません。
9. 自分の親や相手の親に言えないことは、メールしません。自分を守るために自ら厳しくチェックします。
10. インターネットは親と一緒に見られる内容を見ます。何かを知りたいことがあったら、人に聞く習慣を身につけます。
11. 壊したり、なくしたら、修理・弁償をします。そういう時のために、おこづかいを貯めておきます。
12. 公共の場では電源を切るか、マナーモードにします。
13. 自分の写真・動画を送ったり、人の写真・動画を受け取ったりしません。
14. このモバイル端末を見ながらの自転車運転など、「ながらスマホ」「ながら電話」をしません。
15. このモバイル端末無しでの生活もできるよう、使用しない日もつくります。
16. 最新曲など、同じものをずっと聴く(見る)など依存になりません。
17. 携帯ゲームは、言葉遊びやパズル、脳トレだけにします。
18. このモバイル端末は使い方次第で被害者にも加害者にもなることがあることを理解して使います。

_____の宣言

このルールを守れなかった時には、このモバイル端末を親に返し、1ヶ月間使用禁止にします。その後、もう一度使い方について、学び、使用再開については家族で話し合っ